



## 看護師

# 11月14日は「世界糖尿病デー」

4階西病棟師長 鈴木 美代子

増え続ける糖尿病患者の抑制に向け設立されたのが「11月14日 世界糖尿病デー」です。この日は世界中の様々なモニユメントがブルーにライトアップされ、糖尿病に関心も持っていただけるよう、医療機関を中心にイベントが開催されます。今年度、愛知県では名古屋城・岡崎城が、東京ではスカイツリーがブルーにライトアップされました。

当院の取り組みとしては、糖尿病サポートチーム\*を中心に11月10日～11月14日まで「中部ろうさい病院糖尿病週間」としてのイベントを開催しました。正面玄関ホールにおいて、①糖尿病に関するポスター掲示、②医師・薬剤師による医療相談、③管理栄養士によるカロリーに関するクイズのスタンプラリー、④看護師による血糖・腹囲測定、⑤理学療法士による簡単な運動の紹介、などを行い50名ほどの方が参加されました。初めての取り組みであり、イベント内容・場所・アピール方法など課題も残されました。今年度の反省を踏まえ、来年度はより多くの方に糖尿病について関心を持っていただけるような企画を考えてい

きたいと思います。

糖尿病は予防が大切です。特定健康診査・特定保健指導(メタボ健診)が導入されてから糖尿病の予備軍は減少傾向です。イベントを通して「糖尿病予防」に関心をもっていたらと思います。



血糖測定の様子

### 〈糖尿病サポートチームの紹介〉

\*糖尿病サポートチームは、糖尿病の治療・教育・指導の充実と発展を目的に、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・臨床検査技師の多職種で結成されたチームです。

今年度は糖尿病週間のイベントやクッキング教室などを行いました。



糖尿病に関するポスター掲示



糖尿病サポートチームのメンバー